

(4) 平成27年度 事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

発酵乳・乳酸菌飲料製造業の発展のため、平成27年度においては、定款で定める事業を以下により実施した。

1. 衛生及び品質の向上に関する事業

(1) 食品表示セミナーの開催

平成27年4月に施行された「食品表示法」に基づく新しい表示基準の周知徹底を目的として、経営者・管理職を対象として開催した。

① 第1回セミナー 平成27年5月12日 会場：東京

・演題：「機能性表示食品制度のポイント」

・講師：森田満樹氏

(消費生活コンサルタント。消費者庁及び農水省の食品表示に関する調査会等の委員でもある)

・参加者数：97名

② 第2回セミナー 平成27年7月10日 会場：東京

・演題「食品表示法 新しい表示基準のポイント」

・講師：森田満樹氏

・参加者数：86名

(2) 表示研修会の開催（はっ酵乳、乳酸菌飲料公正取引協議会との協催）

表示担当者を対象として、食品表示法に基づく「食品表示基準」及び改正景品表示法に基づく「事業者が講ずべき景品類の提供及び表示の管理上の措置」の周知を目的とした講義並びに現行の「はっ酵乳、乳酸菌飲料の表示に関する公正競争規約」の適正運用力の向上を目的としたグループ演習で構成される2日間の研修会を開催した。

① 日時及び会場（8都市で開催）

9/30・10/1 東京、10/7・8 大阪、10/14・15 札幌、10/21・22 仙台
10/27・28 名古屋、11/5・6 岡山、11/11・12 松山、11/18・19 熊本

② 参加者数111名（非会員7名）

(3) ビフィズス菌検査研修会の開催

平成26年当協会が作成・公表した「ビフィズス菌使用発酵乳・乳酸菌飲料のガイドライン」の普及・定着を目的として、検査業務担当者

を対象として開催した。

① 日時

第一回：平成27年11月25日及び26日

第二回：平成28年1月25日及び26日

② 研修内容

講義：衛生規制、乳酸菌・ビフィズス菌の基礎知識等

実技：乳酸菌、ビフィズス菌等の検査方法

*実技は、(公財)日本乳業技術協会が指導。

③ 参加者数：合計16名

2. 製造技術及び製造施設の改善並びに経営の合理化及び流通の合理化に関する事業

以下の情報を、「乳酸菌ニュース」により発信した。

(1) 流通大手の最前線

生活協同組合コープこうべ、(株)マルエツ、(株)京王ストア及び(株)フレッセイの協力を得て、店頭における売れ筋商品、販売戦略等を取材した。

(2) 会員企業の戦略

九州乳業(株)、協同乳業(株)、やまぐち県酪乳業(株)を訪問して、会社概要、経営理念、経営戦略等について取材した。

(3) 研究開発の最前線

以下の会員から最新の乳酸菌研究の成果について取材した。

－小岩井乳業(株)

乳酸菌による「免疫賦活化」効果

－カルピス(株)

乳酸菌飲料の「おいしさ、香り」による効果と、「心とからだの健康」への効果

－タカナシ乳業(株)

乳酸菌による「免疫調節機能」と「大腸炎抑制作用」

－協同乳業(株)

腸内細菌産生物質の探索と、ビフィズス菌による寿命伸長効果

3. 知識の普及・消費の増進に関する事業

以下の情報を、「乳酸菌ニュース」、「はつらつファミリー」及び協会ホームページより発信した。

- (1) 科学知識・トレンド（乳酸菌ニュース）
 - －「日本人の食事摂取基準（2015年版）」のポイント
(東京大学 佐々木教授)
 - －離乳食の進め方と発酵乳の有用性 (帝京科学大学 上田教授)
 - －「美味しさ」と「健康」を科学する (龍谷大学 伏木教授)
 - －腸を健康にする食生活 (新宿大腸クリニック 後藤院長)
- (2) 行政情報（乳酸菌ニュース）
 - －年頭挨拶 (関係省庁担当課長)
 - －乳及び乳製品の規格基準の見直し (厚生労働省)
 - －酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針のポイント
(農林水産省)
 - －平成26年度景品表示行政の動向 (消費者庁)
- (3) 健康情報（はつらつファミリー）
 - －生活習慣病の予防
 - －腸内細菌バランスの改善
 - －児童及び高齢者の生活改善
 - －乳酸菌の基礎知識
- (4) 学術情報（ホームページ）
 - 乳酸菌ニュースで紹介した会員の最新の乳酸菌研究の成果
- (5) その他（乳酸菌ニュース及びホームページ）
 - －統計情報
 - －関連書籍、新聞雑誌での掲載記事等
 - －各種ガイドライン
 - －セミナーで使用した資料

「特記事項1」平成27年度新規事業として、消費者を対象とし、発酵乳・乳酸菌飲料の特徴や製造方法、乳酸菌の保健機能について解説した、プロモーションビデオ「ヨーグルトと乳酸菌飲料のヒミツを探る」を作成・配布した。

「特記事項2」平成27年6月にホームページにおいて会員向けサイトを開設し、協会・協議会から発信した文書やセミナー等で配布した資料を閲覧できるようにした。

4. 情報・資料の収集及び周知・紹介に関する事業

(1) 法令関係

以下の改正法令・通知を、会員に対する行政文書の発送、セミナー・

研修会での説明等により周知を図った。

- ① 平成26年12月、「乳等省令」改正により新しく整備された、いわゆる「殺菌発酵乳」及び「低温発酵乳」の規格基準
- ② 平成26年6月及び11月、改正された景品表示法に基づく「事業者が講ずべき景品類の提供及び管理上の措置」（平成26年12月施行）、「課徴金制度」（平成28年4月施行）の導入に関するもの
- ③ 平成27年4月、施行された食品表示法に基づく食品表示基準

(2) 2015年度IDFワールドデイリーサミット

(9月20日～27日、於：リトアニア国)

当協会から、運営委員を派遣し、発酵乳・乳酸菌飲料の各国における動向を調査するとともに、各国乳業関係者との情報交換を行った。

(3) 乳製品輸出促進事業

政府が主導する乳製品輸出事業に参加し、ベトナムにおける乳製品の市場調査及び日本製乳製品に関する調査を実施した。

5. その他本会の目的達成に必要な事業

(1) 相談事業

発酵乳・乳酸菌飲料の特性・品質に関する消費者等からの問い合わせに対応した。(電話、メール、FAX等)

問合せの件数：合計62件

※内訳：マスコミ25件、会員19件、消費者5件、その他13件

(2) ホームページ利用状況

アクセス数： 1,308,014件 (昨年比121.5%)

※昨年度 1,076,208件

(3) 講演依頼への対応

要請に応じ、発酵乳・乳酸菌飲料についての一般知識を中心とした講義を行った。

－10月 5日 主婦連合会

－10月16日 千葉大学園芸学部

(4) 環境問題への対応

紙製容器包装リサイクル推進協議会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会等の3R関係団体が実施する展示会への協力など容器包装による環境問題への啓発活動に参加した。

(5) 行政庁に対する業界意見の提出

消費者委員会における「特定商取引に関する法律」見直し作業の過程で公表された「中間取りまとめ」に対し、特に訪問販売への規制強化に関する事項について業界としてのコメントを提出した。

(6) 新会員の勧誘

食品表示セミナー、表示研修会及びビフィズス菌検査研修会への参加を呼びかけるとともに協会・協議会への加入を勧めた。

平成27年度においては、正会員として「やまぐち県酪乳業(株)」の入会があり、賛助会員として「日世(株)」の入会と、「(株)日本デキシー」及び「トキワ工業(株)」の退会があった。

これにより、平成27年度末会員数は、110社（正会員54社、賛助会員56社）となった。

	H27.3	H28.3	増減
正会員	53社	54社	1社増
賛助会員	57社	56社	1社減
合計	110社	110社	増減なし

以上

(注) 事業報告に係わる附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。